

株式会社横浜アリーナ

第25期 事業報告

平成22年 1月 1日から
平成22年12月31日まで

— 目次 —

- 1) 事業報告
- 2) 貸借対照表
- 3) 損益計算書
- 4) 1～12月イベント分野別稼働実績

事業報告

平成22年 1月 1日から

平成22年12月31日まで

株式会社横浜アリーナ

1. 事業の経過および成果

平成 22年度の日本経済は、足元の雇用・所得環境が依然として厳しく、景気の踊り場局面から脱しきれておりません。特にデフレ・円高の長期化が企業収益改善の足かせとなっております。

そうした中、横浜アリーナは、稼働日については首都圏アリーナクラスの堅調な需要を背景に、日程提示期限の徹底やより積極的な誘致、売り込みの成果が出て、目標の248日を大幅に上回る276日という結果を残すことができました。

前年との比較においては、スポーツ分野は昨年開催された世界卓球のような大きなイベントがなかったことから大きく落ち込みましたが、コンサート分野は想定外の平日受注や舞台仮組等も加わり、大幅な稼働日増となった結果、全体としても前年を大幅に上回りました。

特に今年度は顧客に対する重点的な訪問活動を行い、その結果、アジアアーティストイベント等、新たな需要を確実にとらえて受注につなげることができたことも稼働日増の大きな要因となっています。

なお、当期の来場者数は約155万人(前年約170万人、対前年8.9%減)で、平成元年4月の開業以来の来場者数は約3,404万人となりました。

施設の安全面に関しては昨年10月に設置した事故ゼロ対策検討委員会で定めた具体的な施策を実施した結果、物損・人身事故の増加傾向に歯止めをかけることができました。さらにはヒヤリハット事例も能動的に収集し、事故未然防止及び安全意識の向上がはかられています。

業績につきましては、売上高は、1,902百万円(前年1,840百万円、対前年3.3%増、予定12.5%増)となり、目標売上高1,690百万円を大幅に上回ることができました。

一方、売上原価は、稼働増により業務委託費が前年、予算増となりましたが、非定常修繕の見直しによる修繕費削減とインフルエンザ対応費用の未発生による施設備消耗品費の抑制がはかられたことにより、1,160百万円(前年1,196百万円、対前年3.0%減、予定2.5%減)となりました。販売費及び一般管理費は、交際費及び販売促進費のコスト削減努力等により284百万円(前年328百万円、対前年13.4%減、予定16.0%減)となり、予定を大きく下回りました。

これらにより当期の損益は、目標営業利益162百万円に対して458百万円(前年315百万円、対前年45.3%増、予定182.9%増)を計上し、経常利益484百万円(前年387百万円、対前年25.2%増、予定158.6%増)、当期純利益281百万円(前年209百万円、対前年34.1%増、予定150.4%増)となりました。

また、資産運用効率改善を目的として、2月に50億円の有償減資を実施しております。

貸借対照表

(平成 22年 12月 31日現在)

(単位 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	946,539	流動負債	634,264
現金及び預金	23,492	買掛金	8,361
売掛金	187,589	未払消費税等	29,366
有価証券	200,000	未払法人税等	123,671
短期貸付金	509,312	未払事業所税	21,324
商品	1,054	未払費用	58,158
繰延税金資産	21,549	未払金	21,149
その他流動資産	3,540	前受金	338,384
固定資産	6,653,642	前受収益	18,868
有形固定資産	29,272	預り金	5,079
器具	28,928	役員賞与引当金	9,900
運搬具	343	固定負債	98,223
無形固定資産	4,426,478	受入保証金	9,425
施設専用利用権	4,419,543	退職給付引当金	80,883
電話加入権	2,625	役員退職慰労引当金	7,915
ソフトウェア	4,309	負債の部合計	732,488
投資その他の資産	2,197,891	純 資 産 の 部	
投資有価証券	310,000	株主資本	6,867,693
長期貸付金	1,850,000	資本金	4,999,999
破産更生債権等	3,685	利益剰余金	1,867,693
繰延税金資産	37,891	利益準備金	1,266,000
貸倒引当金	△ 3,685	その他利益剰余金	601,693
		繰越利益剰余金	601,693
		純資産の部合計	6,867,693
資産の部合計	7,600,181	負債・純資産の部合計	7,600,181

損 益 計 算 書

自 平成22年 1月1日
至 平成22年12月31日

(単位 千円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高		1,902,580
売 上 原 価		1,160,144
売上総利益		742,436
販売費及び一般管理費		284,081
営業利益		458,355
営業外収益		
有価証券利息	6,801	
受 取 利 息	19,235	
雑 益	381	26,419
経常利益		484,774
特別損失		
固定資産除却損	68	68
税引前当期純利益		484,706
法人税、住民税及び事業税	202,758	
法人税等調整額	430	203,189
当 期 純 利 益		281,517

2010年1～12月 イベント分野別稼働実績

2010年 実績		ショー コンサート	集会 式典	展示 物販	スポーツ	合計	稼働率 (%)	2009年 稼働率
上期 (1～6月)	件数	22	5	4	2	33	64.1%	57.5%
	日数	88	13	12	3	116		
	本番日	49	8	8	2	67		
	構成比	75.9%	11.2%	10.3%	2.6%	100.0%		
下期 (7～12月)	件数	31	15	4	1	51	87.0%	84.8%
	日数	105	42	12	1	160		
	本番日	50	20	8	1	79		
	構成比	65.6%	26.3%	7.5%	0.6%	100.0%		
年計	件数	53	20	8	3	84	75.6%	71.2%
	日数	193	55	24	4	276		
	本番日	99	28	16	3	146		
	構成比	69.9%	19.9%	8.7%	1.4%	100.0%		

(参考)

対前年 増減数	件数	13	△ 3	2	△ 5	7	4.4%	2008年 稼働率
	日数	40	△ 9	6	△ 21	16		
	本番日	12	△ 6	4	△ 13	△ 3		
	構成比	11.1%	-4.7%	1.8%	-8.2%	0.0%		
2009年 年計 (1～12月)	件数	40	23	6	8	77	71.2%	65.3%
	日数	153	64	18	25	260		
	本番日	87	34	12	16	149		
	構成比	58.8%	24.6%	6.9%	9.6%	100.0%		